



県立鹿屋高等学校PTA広報誌



第77号

発行日 平成29年12月22日
 発行 県立鹿屋高等学校PTA
 発行責任者 桑原 克幸PTA会長
 編集責任者 一村 彩子広報部長
 題字 福原すみれ(1年4組)

- 1 面：進路座談会
- 2・3 面：全国大会・PTA研修視察・学年PTA・校内ミニバレー他
- 4・5 面：体育祭・文化祭・クラスTコレクション
- 6・7 面：2年生学級紹介・修学旅行
- 8 面：センター出願式・編集後記

進路座談会

進路について考えよう

目々からウロコ!!

PTA進路指導部 2-6 江崎・2-4 猪野

8月18日(金)保護者向け進路座談会「目々からウロコ」が開催されました。毎年、数名の卒業生や保護者の方々に進路決定までの過程や受験体験についてのお話をお聞きしています。



★保護者体験談★

69期生保護者Aさん

子どもが受験に取り組む中で、家庭(家)が安らぎの場となるように心がけました。チームメイトとともに取り組んだことが励みになっていたようです。

69期生保護者Bさん

早い時期に志望校を定めていた方がよい。県内外の大学のオープンキャンパスに行き、特に県外の土地柄等々を知ることが大事。(自分に合うかどうかを見極める)

69期生保護者Cさん

休日も学校を利用して、友達と一緒に勉強したことが励みになり意欲も湧いてきた。事前に受験時のホテルや交通手段を調べて、早めに予約をする。

★卒業生体験談★

69期卒業生Dさん

前期で不合格になったときは、部活動での様々な体験(失敗や成功)が活かされて、前向きに後期試験に取り組めた。

69期卒業生Eさん

早めに志望校を決めることがとても大事だったと実感した。自分の将来の夢を見据えての、大学・学科選びをしていく。

★進路指導部講話★

主任 大山先生

2020年から、大学入学者選抜改革ということで、現在とは入試の形が変わることについての説明をしていただきました。詳しく知りたい方は、文科省のホームページにも掲載されているそうです。

受験勉強で、うまくいかないこともあるが、とにかく粘り強く頑張る、まずはセンター試験で結果を出してほしいと、力強いお言葉を頂きました。



★参加しての感想★

皆さん、ユーモアを交えて、わかりやすくお話していただき、受験までの過程を知るととても貴重な時間を過ごすことができました。来年も是非参加したいです。

PTA活動報告

1 学年PTA



1 学年委員長 持田 久嗣
 10月20日(金)、1 学年PTAが行われました。前半はスマホ関連の中でも注目されているSNSの問題点を講演していただきました。便利の裏にある危険を理解した上での使用について考えさせられました。また、来年は、スキーと東京での修学旅行が行われるという説明を挟んで、親子で10年後の自分を想像した早期の進路決定の必要性と実現に向けた取り組みについての講演を聴きました。進路に対する親子の対話の必要性、家庭学習の取り組み方など、今後、子どもとしっかり対話をし、夢の実現に向けて二人三脚で取り組んでいきたいと思っていました。

2 学年PTA



2 学年委員長 内倉 康孝
 10月27日(金)、2 学年の学年・学級PTAと進路講演会が開催されました。進路講演会では「高2秋☆今をどうするか」と題して北九州予備校鹿児島校の黒木浩二校長先生から、3 年生に向けての心構えと受験対策について話がありました。これからは人工知能の発達により私たちが未だに経験したことのない時代となりそうだが、いつの時代もその変化に適応して先頭を走ってきたのが若い力であり、豊かな感性、高い知性、学び続ける力、コミュニケーション能力が特に大切になるということでした。それらを高めるため学力の向上は必要であり、その方法として、効果的な学習サイクルの習得方法などの具体的な取り組みの紹介があり、3 年生に向けて親子共々、気持ちを引き締めるよい機会となりました。

PTAミニバレーボール大会



優勝:2 年3 組



準優勝:1 年1 組



広報部 一村 彩子
 7月23日(日)、PTAミニバレーボール大会が開催されました。予選はリーグ戦、決勝はトーナメント形式で行われました。参加者は個性豊かなクラスTシャツを着て試合に臨みました。校長先生や教頭先生、また卒業生も参加し、保護者と教員が一丸となつて試合に臨みました。決勝戦は1 年1 組と2 年3 組との熱戦となり、一進一退の攻防が続きましたが、最後は2 年3 組が勝利しました。優勝した2 年3 組は12月3日に行われる鹿屋市PTAミニバレーボール大会に出場することになります。鹿屋高校代表として、活躍を期待したいと思います。今回もたくさんの方々の保護者の方々と汗を流して、共に試合に臨むことで、一体感も生まれ、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。

地区高校PTAブロック別研修会報告



校長 橋口 浩二郎
 9月30日(土)、大隅地区高等学校PTAブロック別研修会が、志布志市文化会館で開催されました。本校からは、桑原会長さんを始め、70人を超える会員の皆さんが参加して、大会を盛り上げてくださいました。今年度の研究主題は、『絆を深めるために』で、かごしま環境未来財団理事の塩川哲郎氏が、『信じること・許すこと』と題して記念講演をされました。「人の言動の原点は、愛か恐れかの二つしかない。ありのままを受け入れ、愛する心をもって言葉を発することが、幸せな家庭を築いていく原点になる。」と、自身の経験をもとに話されました。鹿屋工業では、学科の内容に合わせた研修を行っているということでした。また、志布志高校では、三土会という母親学級を実施している等の事例発表がありました。他校のPTA活動を知る良い機会となりました。来年度もたくさんさんの参加をお願いします。

PTA研修視察



研修部 米永 奈緒子
 10月4日(水)、PTA研修視察が行われました。鹿児島県立短期大学と鹿児島大学を訪問しました。県立短大は勤労学生や社会人学生、退職後学びたいという方などのため、夜間課程がありました。鹿児島大学では図書館が立派で、所蔵冊数に驚きました。また、平成30年度の入試からインターネット出願に変わることや入試に関する情報をLINEアプリで提供している話など「時代」を感じることでした。最後に、学食での美味しい昼食の体験もでき、来年度も多くの保護者の皆様に参加していただきたいと強く感じました。

第67回 全国高等学校PTA連合会 静岡大会



PTA係 横山 泰三
 8月23日から25日の三日間、第67回全国高等学校PTA連合会静岡大会に上谷田副会長と二人で出席しました。初日は今年度の大河ドラマ「女城主直虎」ゆかりの地、気賀や龍潭寺などへ巡検をしました。また、夜には鹿児島県PTAの方々と情報交換会で親交を深めることができました。2日、3日目の全体会の会場となったエコパ静岡アリーナはラグビーワールドカップの会場に選ばれるだけあって、そのスケールの大きさに圧倒されました。会場では地元の高校生の郷土芸能や琴部、吹奏楽部などの演奏もあり、静岡県のことをたくさん知ることができました。静岡県出身の俳優俊夫さんの講演会は非常に楽しく、楽しみながらもとても勉強になりました。次の全国大会は同じ九州の佐賀県です。来年度も参加したいと思える、素晴らしい3日間でした。



体育祭

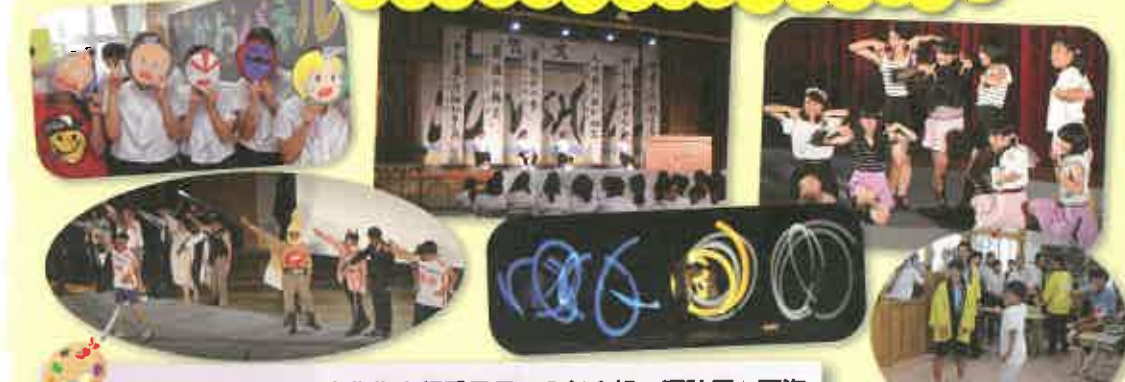
9月9日(土)



PTA生徒指導部のみなさん、校内整備ありがとうございました!
 ・体育祭警備 柿園さん(2-4)・板元さん(2-5)・柿さん(3-6)
 ・文化祭警備 本村さん(1-2)・山本さん(3-4)・嶋尻さん(2-4)

生徒会長 2年6組 岡元 拓己
 「SUNSHINE～届け! 響け! 輝け! 三星魂今ここに～」をスローガンに、今年も熱い三星祭が開催されました。体育祭では、各団、例年を上回る奮闘ぶりを見せ、最後の最後までどこが優勝するか分からない大熱戦となりました。とくに応援合戦は、勢いのある黄組に始まり、勝負強い青組、団結力の赤組と各団の体育祭にかけける思いがぶつかり合いました。結果、優勝旗は青組の手へ。死力を尽くした三星健児の勇姿が美しく輝いた一日でした。
 文化祭においては、1・2学年で展示、バザー、舞台発表を行いました。文化祭実行委員や各学級の努力が実り、二日間におよび大いに盛り上がったすばらしい文化祭でした。今年も大盛況の内に幕を閉じた三星祭。まさにスローガンにあるがごとく、三星魂が太陽のように眩しく輝いたすばらしいものでありました。

3年応援団長 3年1組 永田 大武
 今年の体育祭は連日の雨の影響で思うような練習ができず、本番がうまくいくか非常に心配されました。しかし、当日は澄み渡った青空が広がり、絶好の体育祭日和となりました。各競技での激闘もさることながら、夏休みから各学年で練習をしてきた応援合戦では、どの団もとても完成度の高い演舞を披露しました。私自身、演舞で最後の型が決まったときの真っ白な気持ちと、ダンスの最後、「足音」を歌っているときのみんなの笑顔は忘れられません。結果は、2年生が優勝し、私たち3年生は悔しい思いをしました。しかし、最高の仲間たちと、ひと夏かけて全力でやりきった体育祭は、高校生活最高の思い出になると確信します。これから受験に向けて、敗北の悔しさを教えてくれた後輩たちに感謝し、「足音」の歌詞の如く、「また一歩、次の一歩」と未来への歩みを進めていきたいと思ひます。



文化祭実行委員長 2年1組 諏訪原 夏海
 今年の文化祭は、「SUNSHINE～届け! 響け! 輝け! 三星魂今ここに～」の三星祭テーマ通り、何事にも一生懸命な三星健児が全力で盛り上がった二日間となりました。本番前日まで試行錯誤して作り上げたステージ発表や、創意工夫された展示、大盛況の食物バザー、出場者の個性が光る弁論大会など、それぞれの努力が伝わるすばらしいものばかりでした。3年生も「壁画へのメッセージ記入」という形で最後の文化祭に参加し、文化祭実行委員だけでなく、たくさんの人の協力があってこそ成り立った文化祭だと思います。最高の文化祭を、本当にありがとうございました。

文化祭

9月22日(金)・23日(土)



写真撮影・提供 写真部
 ・2年4組 川井田 理
 ・2年6組 東小野 大翔

- ①学級紹介
- ②修学旅行で一番印象に残ったこと
- ③修学旅行のおもしろエピソード
- ④クラスの中で人気のあったお土産ベスト3
- ⑤来年に向けてのクラスの意気込みをひと言

2組



- ①どんな時でもクラス全員が笑顔でいられるような、とても明るいクラスです。
- ②奈良公園でコーンポタージュを飲んでいた男子にたくさんの鹿が寄ってきたこと。
- ③ホテルの鍵を無くした男子3人が、一生懸命私物を確認しあっていたにも関わらず、鍵は部屋のベッド本体とシーツの間という意味不明な場所から出てきたということ。
- ④京ばあむ、八つ橋、ユニバのグッズの順でした。
- ⑤3年生0学期であると自覚し、受験勉強に取り組むことができる雰囲気作りをしていきたい。



- ①一人ひとりの個性がとても強く、笑いの絶えない最高のクラス。
- ②四日間ともに過ごすことで、今まで以上にお互いの仲が深まったと思う。やっぱりUSJは夢のような時間を過ごせる場所とても楽しかった。
- ③バスの中でクラスメイトがラップを歌って、みんなが爆笑し楽しい時間を過ごしたこと。
- ④USJでお土産を購入する人が多く、キーホルダー、帽子(かぶり物)、お菓子の順。
- ⑤来年の今頃に、みんな一生懸命頑張っている。進路実現に向けて、修学旅行で学んだことを生かし、今から少しずつ頑張っていきたい。



4組



6組



- ①個性的な人が多く元気があり、笑いの絶えないクラスです。
- ②クラスに怪我をして困っている人がいて、その人の荷物を持ったり、気にかけてあげる人が多かったこと。
- ③余韻に浸り、まだ家に戻りたくない全員が思い出話で盛り上がっていたバスの中。
- ④USJのキャラクター関連のもの、生八つ橋、八つ橋の順。
- ⑤受験への意識を高めて、全員が志望校に合格できるようにしたいです。



- ①私たち8組は、男女の仲が良く一人ひとりが個性的で、活気のあるクラスです。
- ②修学旅行中に誕生日を迎えた人たちをサプライズで、みんなでお祝いしたこと。
- ③清水寺にある「恋みくじ」を10回ひいている人がいました。(笑)
- ④一番人気のあったのは、八つ橋で、家族や親せきにあげる人が多かったようです。2位、3位は大体同率でUSJのぬいぐるみとストラップでした。
- ⑤来年は、私たち71期生は受験生となるので、2年生のうちから勉強をしっかりとする雰囲気づくりをしていきたいです。



8組



2年生 学級紹介 & 修学旅行報告!!



1組



- ① 教室内の雰囲気も良く、楽しむときは楽しみ、やるときにはやる、メリハリのあるクラスです。
- ② USJで、たくさんの可愛いキャラクターと会えたこと。
- ③ ハリーポッターに似ていると言われている男子が、USJのハリーポッターエリアを満喫していたこと。
- ④ 鹿の皮で作られたメガネ拭き、USJのキャラクターのグッズ。
- ⑤ 全員が志望校に合格できるよう、一日一日の積み重ねを大事にします!!

- ① 一人ひとりの個性が際立ち、毎日明るく賑やかなクラスです。
- ② 修学旅行を通して、クラスの仲がより一層深まったこと。
- ③ ホテルに向かうバスの中でカラオケをし、全員で盛り上がる事ができたこと。
- ④ 八つ橋(京都)、かぶり物やクッキーなど(USJ)、お守り(京都)
- ⑤ 全員が、受験生であるという自覚を持ちながらも、学校行事には全力で取り組み、志望校合格目指して頑張ります!!

3組



- ① 男女関係なくクラスみんなの仲が良く、どんな事にもしっかり取り組める素敵なクラスです。
- ② 「西野カナ in USJ」と「フライングダイナソー」(USJで一番えげつない乗り物)
- ③ ・アニメイトでN君が諭吉を3人とばした。
・クラスで人気のIちゃんが、エサも持っていないのにたくさんの鹿が寄ってきて、鹿にも大人気だった。
・自主研修の時、清水寺でおみくじをひいたら、そのグループ全員が{凶}だった!(でも、みんな学校ではとても楽しそうです。(笑))
- ④ ミニオングッズ、京ばあむ、八つ橋の順ににんきでした。
- ⑤ 残すところ最大のイベントは受験です。気持ちを切り替えて日々精進していきたいです。

5組



- ① どのクラスよりも笑いが絶えない明るいクラスです。
- ② 京都で日本語よりも英語を多く聞いたこと。
- ③ 鹿の目の前で鹿せんべいを食べてやったと自慢している人がいたこと!(笑)
- ④ 生八つ橋、USJのグッズ、京ばあむが人気でした。
- ⑤ 受験生としての自覚を持って、しっかり切り替えをし、勉強を今以上に頑張っていきます。

7組



センター出願式



今年も恒例の、3年生のセンター試験出願式が9月29日(金)に行われました。この行事は3年生一丸となってセンター試験に臨むべく、決意を新たにして、だるまに目を書き入れる行事です。学業成就を祈願して、本校の出願式では両目ともに目の書入れを行います。



～ 生徒決意表明 ～

3年1組 松末 聡一郎



センター試験まであと105日となりました。みなさん日々勉強に励んでいることだと思います。結果が出始めて勉強に対するモチベーションが上がりつつある人もいれば、思うように結果に結びつかず、苦しい思いをして焦っている人もいると思います。私も今、とても不安で焦っている状況です。第一志望の壁がとても高く、果たして自分はこの壁を乗り越えられるのかと消極的になったり、自分が届く次元ではないと感じて自信をなくしたりすることはこれまでに何度もありました。今もそう感じている面もあります。しかし、私は現段階では第一志望を下げるつもりはありません。自分自身が経験したことがないので、断言はできませんが、A判定を既にもらっていて気持ちに余裕がある中で勉強するより、D判定ないしE判定という危機的状況の中で、行きたい大学のレベルに達したいと思って必死に勉強する方が、学力の伸びはもちろん、受験が終わった後の達成感も大きいと思うからです。たとえ結果が芳しいものでなくとも、これまでやこれからの努力は人生の中で必ず意味のあるものになります。それに関しては私自身のこれまでの経験からも確信しています。受験勉強というより勉強は、正直きついし嫌な面が多いです。私もそう思います。しかし、できるわかることに勉強の面白さ、楽しさがあります。その瞬間は、勉強が本当に楽しいです。そして、そのような思いをするためには、毎日少しずつの積み重ねが必要です。諦めなければ、結果はきっとついてきます。たとえ望み通りの結果とならなくても、その努力は自分の財産となってくれます。自分自身の将来のために、諦めずに最後まで70期生で一致団結して頑張りましょう。

～ 生徒決意表明 ～

3年5組 朽木 彩香



18歳の私達は、105日後に迎えるセンター試験にどれほどの覚悟と、どれほどの人生をかけることができるでしょうか。
今から164年前、1853年7月8日。横浜の浦賀にあの黒船が来航しました。この日本の歴史をかえる前代未聞の大事件を間近に見ていた偉人がいます。坂本龍馬です。その時、彼は私たちと同じ18歳でした。
人の寿命が50年ほどの激動の時代。その短い人生で何か残そうと故郷の土佐を飛び出し、黒船の脅威を目の当たりにしても、彼は臆することなく突き進みました。外国に負けないより良い新しい日本を作るために。その15年後に、33歳の短い生涯を閉じるまで、彼は命を懸けて己の目標を成し遂げようとし、その功績は現在まで語り継がれています。
坂本龍馬が黒船を目の当たりにした時と同じ18歳で、私達はセンター試験を迎えます。このセンター試験が私達にもたらす影響はとても大きなものです。私達は、そのことを今どれだけ真剣に捉えることができるでしょうか。また、残された3ヶ月間でどれだけ人生を変えるために突き進むことができるでしょうか。
今や寿命は80年で、坂本龍馬の時代と比べると、長い人生に安定を求め一世一代の何かを成し遂げるといのは難しくなりました。このような現代社会の中で、私は、センター試験は死ぬ気で何かを成し遂げる絶好の機会だと考えます。坂本龍馬のようにセンター試験という脅威に臆することなく、自分を奮い立たせ、目標に向かってこの怒濤の3ヶ月を駆け抜ける、その経験をするのが人生においてとても大事だと思います。
坂本龍馬は日本を変えようとしていました。私達は今人生を変えようとしています。人の思い、ましてや、同じ18歳の思いに優劣はつけようがありません。私達にも人生を変えることができるはずで。残り3ヶ月で80歳になっても自分に誇りを持って語れるような、一世一代の歴史をここに全員で作って上げましょう。

行事予定

12月23日(土)	北予備マーク模試 (3年)
12月24日(日)	
12月25日(月)	冬期課外
12月28日(木)	特別学習会(3年)
12月29日(金)	マーク演習(3年)
12月30日(土)	
1月4日(水)	始業式
1月5日(木)	実力考査(1・2年)
1月9日(火)	大学入試
1月10日(水)	センター試験
1月13日(土)	進研模試(1・2年)
1月14日(日)	進研模試(2年)
1月20日(土)	三星道場
1月21日(日)	三星道場
1月27日(土)	学年末考査
1月28日(日)	卒業式予行
1月29日(月)	卒業式
1月30日(火)	70回卒業式

- 広報部員
 一村(212)・隈元(212)・内之浦(111)
 大窪(211)・山内(214)・赤瀬川(315)
 古里(316)・中畑(317)
- 招請職員
 横山・岩元・隆・西中川

編集後記

今年も残すところわずかととなり、振り返って見ると、平和な一年だ、改めて考えるきっかけとなる一年だ、たように思います。来年は明治維新から150年、「西郷どん」の放送も始まり盛り上がりを見せそうです。さて、77号はいかがでしたか？多くの方々にご協力をお願いいただき感謝しております。皆さんで楽しんでいただけたら幸いです。さすいよいよ3年生にとっては勝負の時です。私の娘は、念願叶って進学した公立大学を中退し、大学付属の看護学校に入り直しました。ごく限られた準備期間で、親にとっては戸惑いの連続の受験でした。合格も果たした娘が一言、「鹿屋高校の3年間ってやつは、すごいなあ、身につけたもの大きさを実感し、感謝するよ」と言っていました。辛い思いしながら日々を積み重ねた3年生。そして保護者の方々には心から新しい年が皆様にとって素晴らしい一年になりますように。どうぞ良い年をお迎えください。(212隈元里美)